

サラリーマン川柳(サラ川に 不満ぶつけて リフレッシュ) (運動会 カメラ片手に パパラッチ) (腹の虫 口から出れば 胡麻をすり) (愛犬が 認めたリーダー おかあさん)



第656号 2009.10.11  
連合中越地域協議会  
長岡市東蔵王2-2-68  
TEL 0258-24-0515  
FAX 0258-24-8930  
発行人 矢島 良彦  
定 価 1部10円



第13回柿川周辺清掃と歴史探訪の集い

連合・列島クリーンキャンペーン実施

80名が参加して中心市街地清掃と史跡めぐり  
善行寺で「直江兼続と長岡」の講演



連合の列島クリーンキャンペーンと合体して実施されている第13回柿川周辺清掃と歴史探訪の集いが親子連れ等80名が参加して10月3日(土)行われた。心配された雨も熱意でスタート時は傘も必要なく行われた。

クリーン行動は桑野SJネット事務局次長の司会で開始され、実行委員長挨拶、行動指示、郷土史研究会による4コースと史跡説明員の紹介、グループ編成がなされ南町公園をスタートした。

早速、公園出口では現在の道が戊辰戦争頃と同じ事等の史跡説明が始まった。別のコースでは、殿町の話しや追廻の意味がその場所々でなされ、同時に思いを馳せている様子。戦災資料館には2コースが訪れ、焼夷弾や戦災状況の説明を受けた。

途中落ちていた空き缶、吸殻等々のゴミを拾い平和の森公園に集結。分別2袋でクリーン行動は終了。

第2部は、平和の森公園隣り善行寺。真新しい檜が香る本堂で田中洋史氏の「直江兼続と長岡」の講演がはじ

まる。今から449年前に遡り、直江兼続(樋口与六)の生誕について。生誕地とされる上田荘とは。直江の姓となるに至った事情。与板衆についてや妻おせん、横顔等々を大河ドラマに史実を交えながらの講演はわずか40分であったがたいへん有意義であった。参加者からは良かった、有意義だったとの声。

柿川に親しむ会で始まってから今年で13回目となる。周辺のゴミも年々少なくなってきた。柿川もきれいになってきていることが確認できる。

最後は伴内SJネット委員長から、長岡の街がきれいになり、運動不足解消や米沢・会津・長岡の歴史を学べ良かったとのことばで締めとされた。

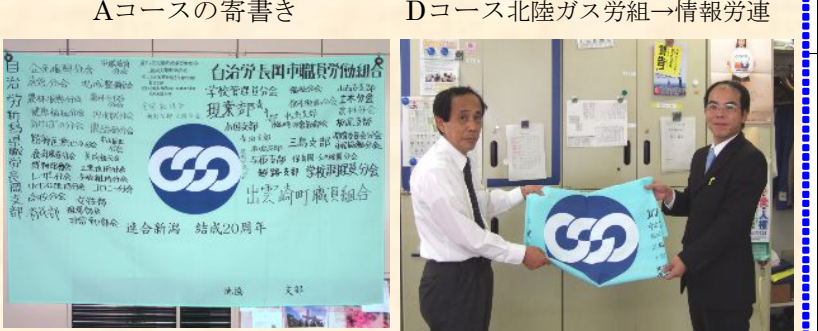


新潟県教職員組合等が主催する「みんなで考えよう!食育と学校給食」が10月3日(土)13時30分からNCホールで開催された。講演「学校も地域もみんなで行いしよに楽しい食育」(渡邊智子氏)で



連合新潟結成20周年記念事業 「隣の単組訪問」旗が戻ってきた

締切間近の中、連合中越地協の4枚を追った。2枚は集約。残り2枚は最終段階にあるようだ。各支部5枚も順調に廻っていると判断したい。写真は逐次、メール等で集まってきた。写真ドシドシ送ってください。各産別・単組の皆さんありがとうございました。



連合中越SJネット委員会

日時 10月15日(木)18:30~  
会場 長岡市勤労会館  
議題 スポーツ交流会 他  
※詳細は地協発第155号参照



第3回役員推薦委員会  
役員立候補手続き確認

第3回役員推薦委員会が10月2日(金)18時から開催された。委員会では、これまでの対応状況について報告がなされ、定期総会に向けて、規約に基づき役員立候補告示の手続きに入るこの確認がなされた。

見なくっちゃ 聞かなくっちゃ 言わなくっちゃ

●秋口に大型台風が本州から北海道を縦断。全国各地に被害をもたらした台風18号。

●地球温暖化が進む限り、海水温が上昇して上昇気流は大きく、ダイナミックに展開して風雨は強まる。地球温暖化は早急にブレーキをかけないと異常気象が常態化して動植物、あらゆる生命体の生態系を大きく変動させることとなる。

●化石燃料依存を少しでも軽減させ、小中学校での環境学習につながる持続可能な仕組みづくりの一環として、NPO地域循環ネットワークが一つの実験事業を展開中。学校給食調理残さの飼料再生に使用されるバーナーを廃油式にして給食室から排出される天ぷら廃食油90%使用の転換に成功した。これで年間四千リットルの灯油削減の目処がたつた。

●この事業は労働金庫厚生財団のNPO支援助成金88万円を受けて実現したものだ。

●労金も銀行もたいして変わらないというの者は間違い。労金は働く者の為に金を循環させ、市民活動を支援し地球温暖化抑制活動の応援をしているのだ。



